

平成19年10月24日

各位

会社名 京都きもの友禪株式会社
代表者名 代表取締役社長 斉藤 慎二
(コード番号 7615 東証第1部)
問合せ先 総務部長兼経営企画部長 佐野 利之
(TEL. 03-3639-9191)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月20日の決算発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期中間個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,970	594	628	364	1,971.39
今回修正予想(B)	6,381	333	368	205	1,110.60
増減額(B-A)	△ 588	△ 260	△ 259	△ 158	
増減率(%)	△ 8.4	△ 43.8	△ 41.3	△ 43.6	
(ご参考) 前期実績(平成19年3月中間期)	7,430	1,050	1,102	619	3,356.61

2. 平成20年3月期中間連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,320	745	762	419	2,269.27
今回修正予想(B)	6,712	477	501	266	1,440.43
増減額(B-A)	△ 607	△ 267	△ 260	△ 152	
増減率(%)	△ 8.3	△ 35.9	△ 34.2	△ 36.5	
(ご参考) 前期実績(平成19年3月中間期)	7,758	1,154	1,195	675	3,663.03

3. 平成20年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	2,343	2,408	1,390	7,528.12
今回修正予想(B)	15,800	2,048	2,114	1,217	6,582.28
増減額(B-A)	△ 700	△ 295	△ 294	△ 173	
増減率(%)	△ 4.2	△ 12.6	△ 12.2	△ 12.4	
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	15,213	2,103	2,201	1,230	6,668.42

4. 平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,350	2,767	2,800	1,606	8,697.96
今回修正予想(B)	16,610	2,444	2,483	1,423	7,696.45
増減額(B-A)	△ 740	△ 323	△ 317	△ 183	
増減率(%)	△ 4.3	△ 11.7	△ 11.3	△ 11.4	
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	15,964	2,410	2,487	1,404	7,609.05

5. 業績予想の修正理由

(1) 個別業績予想数値の修正理由

当中間期において、主力の「振袖」販売については、8月以降の繁忙期においては商品・広告政策の抜本的な見直しを図り、来店者数は着実に回復の兆しが見えてきておりますが、4～7月の閑散期における来店者数が想定以上に減少傾向で推移いたしました。また、既存顧客を対象とした「一般呉服」販売については、主として外訪販売の受注に苦戦いたしました。これらのことから、当中間期の出荷高（売上高）においては、当初計画を下回る見込みであります。

粗利益率についてはほぼ前年同期並となる見込みであります。また販売費及び一般管理費については当初計画比微減の金額となる見込みであります。販売費及び一般管理費の対売上高比では当初計画を上回る比率となる見込みであります。

これらの結果、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに、当初計画を下回る見込みであります。

下期については、主力の「振袖」販売において販売対象者が切り替わることもあり、来店者数増加を見込んでおりますが、上期未達分の下期での取り戻しは厳しい状況であることから、売上高の通期予想数値について修正しております。経費については通期ではほぼ当初計画並となる見込みです。

上記の理由により、中間期及び通期における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はいずれも当初業績予想を下回る見込みであります。

尚、配当金については、当初の予定どおり、1株につき中間配当1,200円、期末配当3,000円を予定しております。

(2) 連結業績予想数値の修正理由

主として個別の業績修正の影響により修正するものであります。

以上